

証券コード

5020

# JXホールディングス 2010年度 第2四半期 決算説明資料

---

2010年11月5日



エネルギー・資源・素材の<sup>みらい</sup>Xを。

JXホールディングス株式会社

**2010年度 第2四半期決算**  
**(2010年4月1日～2010年9月30日)**

- ✓ **在庫影響はマイナスに転じたものの石油製品マージン改善、銅価上昇等により、経常利益は実質増益**

# 2010年度 第2四半期 決算概要 (前年同期比)

\*1 新日石・新日鉱単純合算  
 \*2 3月から8月の平均 (≒到着ベース)

原油代 (ト'ハイ) (\$/B) *2
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)

売上高
営業利益
営業外利益
経常利益
在庫影響除き経常利益
特別利益
当期純利益

1株当り当期純利益 (円/株)

2009年度 *1	
第2四半期 (実績)	
	60
暦年ベース	(184) 239
	95
(億円)	40,875
	960
	244
	1,204
	▲256
	▲187
	630

2010年度	
第2四半期 (実績)	
	76
暦年ベース	(323) 324
	89
(億円)	45,315
	764
	387
	1,151
	1,506
うち負ののれん 一括償却益 2,265	2,225
	2,867

うち負ののれん  
一括償却益  
2,265

115  
 (負ののれん償却益影響除き 24)

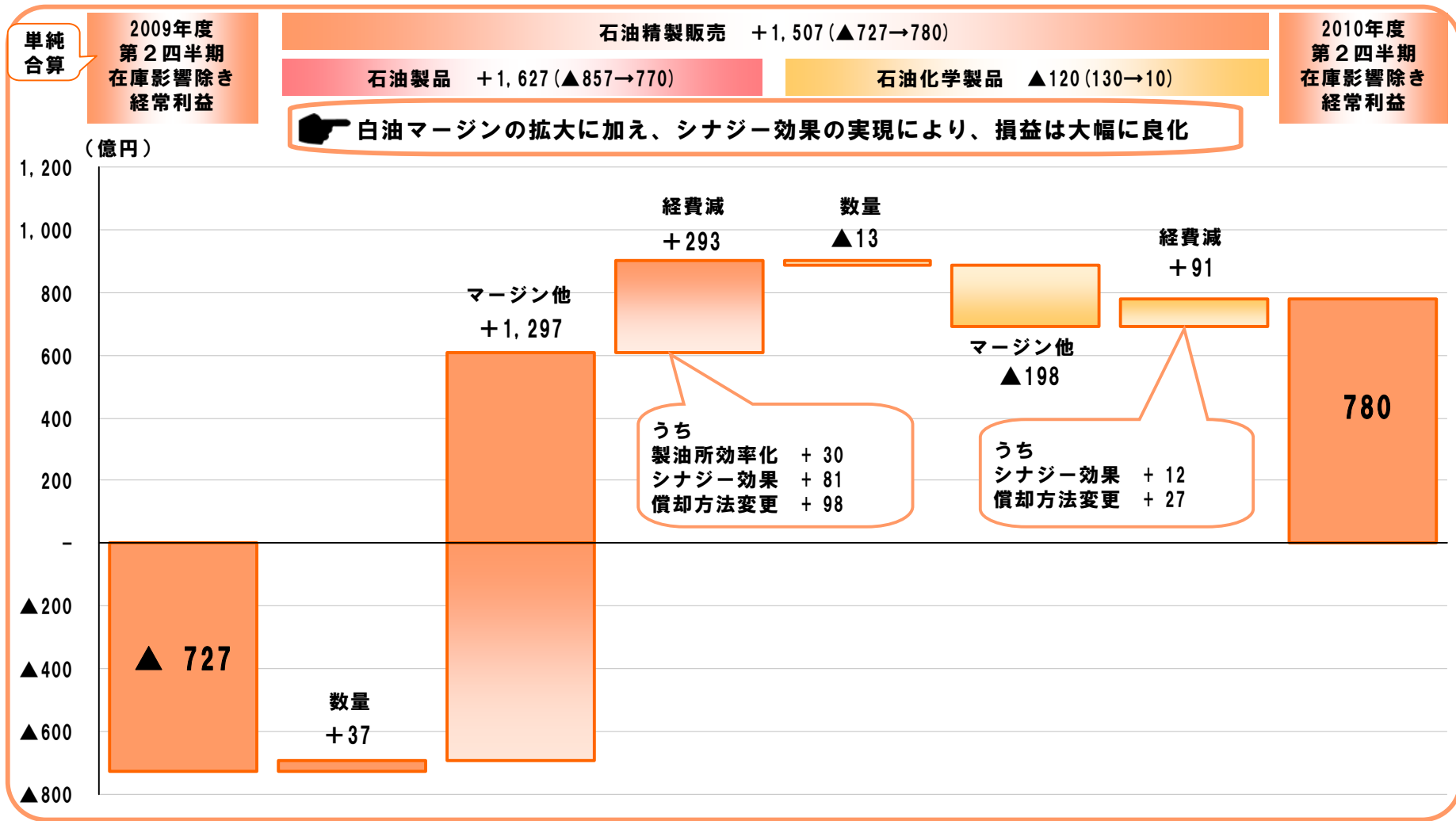
差 異	
	+16
暦年ベース	(+139) +85
	▲6
(億円)	+4,440
	▲196
	+143
	▲53
	+1,762
	+2,412
	+2,237

# 2010年度 第2四半期 セグメント別経常利益 (前年同期比)

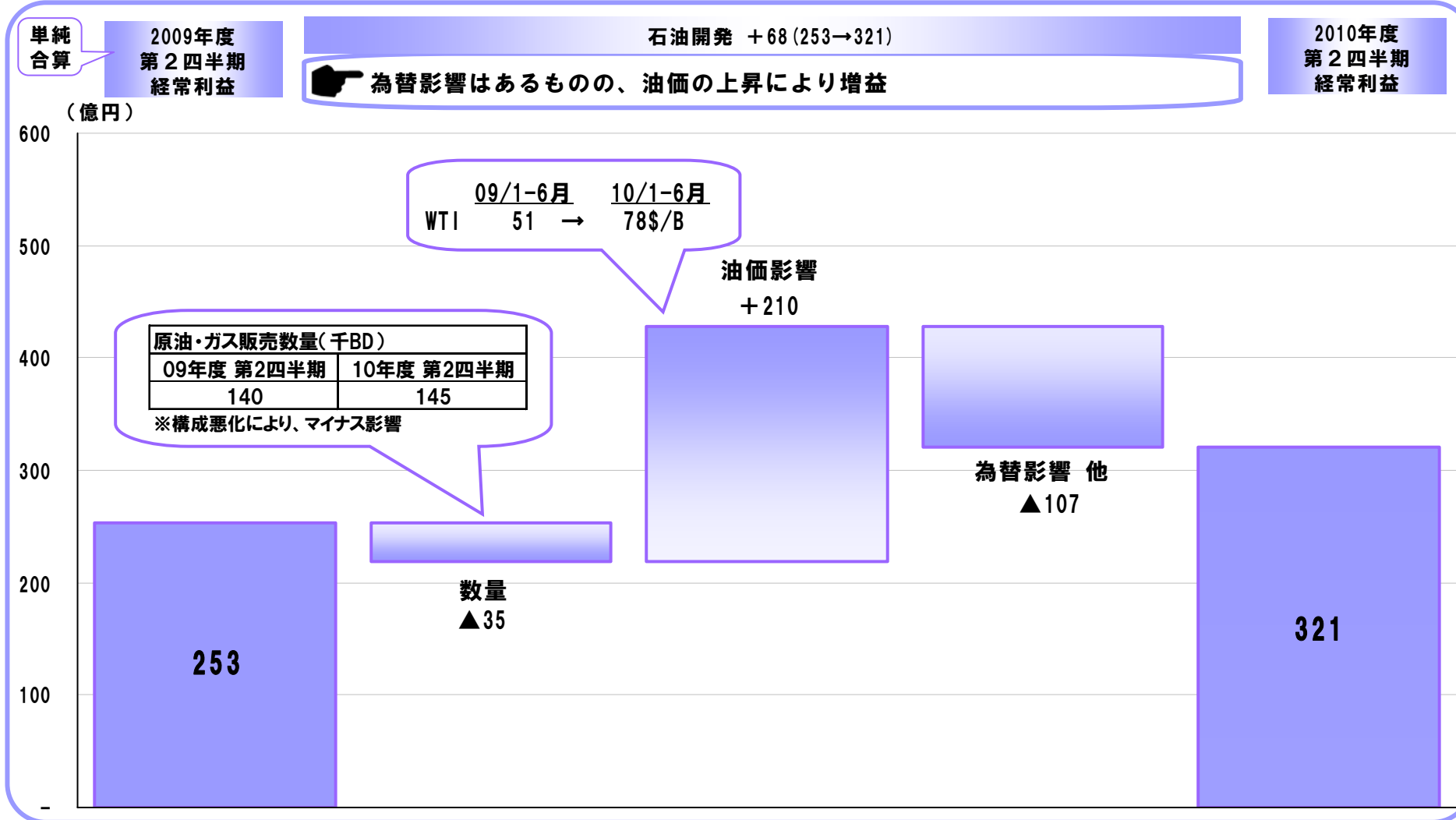
*新日石・新日鉱単純合算	2009年度 * 第2四半期 (実績)	2010年度 第2四半期 (実績)	差 異
	(億円)	(億円)	(億円)
<b>石油精製販売事業</b>	721	428	▲293
(うち在庫影響)	( 1,448 )	( ▲352 )	( ▲1,800 )
<b>在庫影響除き</b>	<b>▲727</b>	<b>780</b>	<b>+1,507</b>
(うち石油製品)	( ▲857 )	( 770 )	( +1,627 )
(うち石油化学製品)	( 130 )	( 10 )	( ▲120 )
<b>石油開発事業</b>	253	321	+68
<b>金属事業</b>	152	305	+153
(うち在庫影響)	( 19 )	( ▲3 )	( ▲22 )
<b>在庫影響除き</b>	<b>132</b>	<b>308</b>	<b>+176</b>
<b>上場子会社<sup>※</sup> 他</b>	78	97	+19
(うち在庫影響)	( ▲7 )	( - )	( +7 )
<b>在庫影響除き</b>	<b>85</b>	<b>97</b>	<b>+12</b>
<b>経常利益 計</b>	1,204	1,151	▲53
<b>在庫影響除き</b>	<b>▲256</b>	<b>1,506</b>	<b>+1,762</b>

※ NIPPOおよび東邦チタニウム

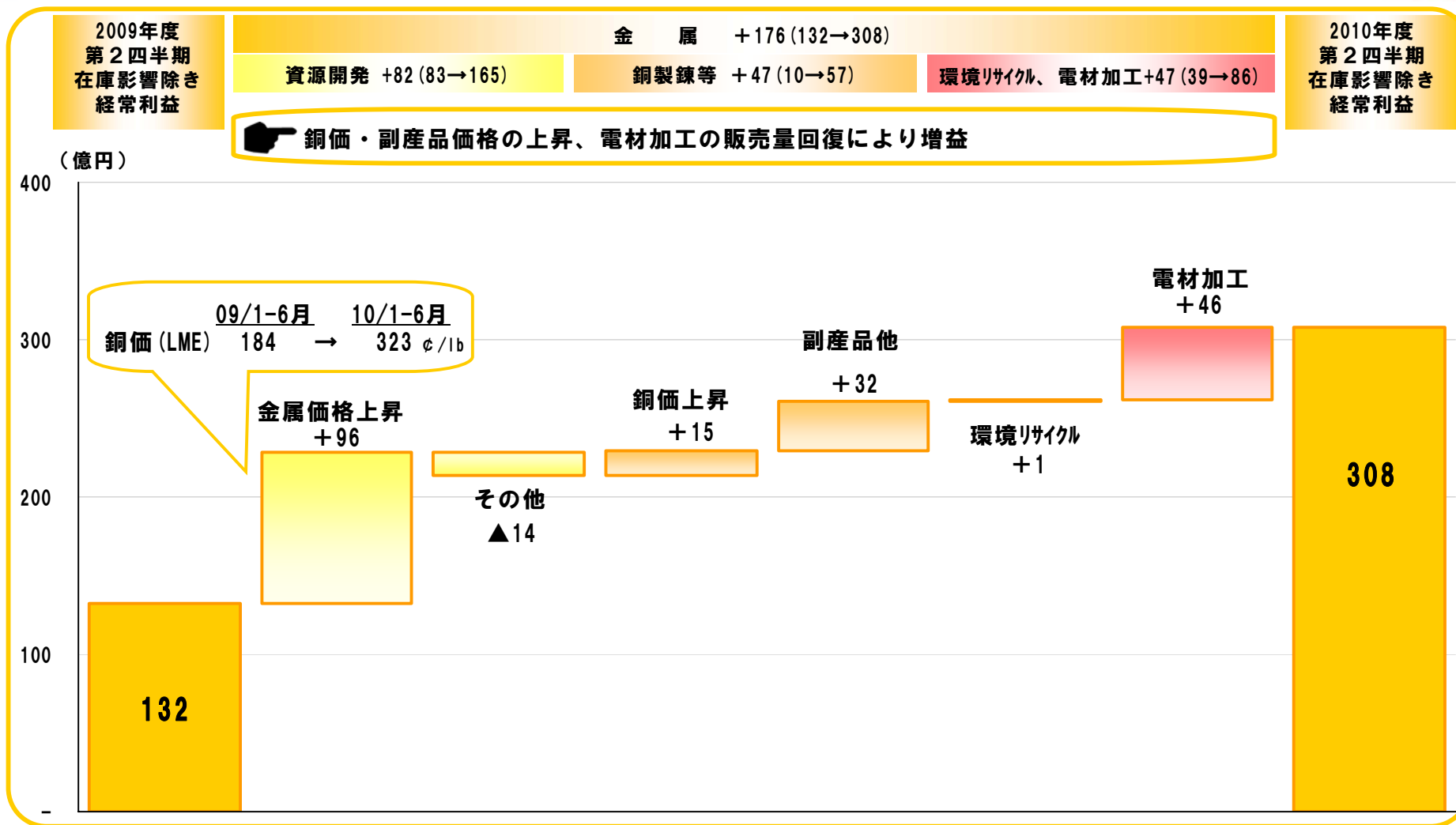
# 2010年度 第2四半期 石油精製販売事業 経常利益増減(前年同期比)



# 2010年度 第2四半期 石油開発事業 経常利益増減 (前年同期比)



# 2010年度 第2四半期 金属事業 経常利益増減 (前年同期比)



## 2010年度 連結業績見通し

- ✓ 円高により在庫影響がマイナスに転じるが、石油製品マージンが改善し、実質経常利益は5月発表対比大幅増益
- ✓ 統合シナジーは当初計画を上回る進捗
- ✓ 2010年度下期見通し前提は、原油価格80ドル/バレル、銅価320セント/ポンド、為替レート80円/ドル



# 2010年度 連結業績見通し 概要 (前回見通し比)

\* 3月から2月の平均 (≒到着ベース)

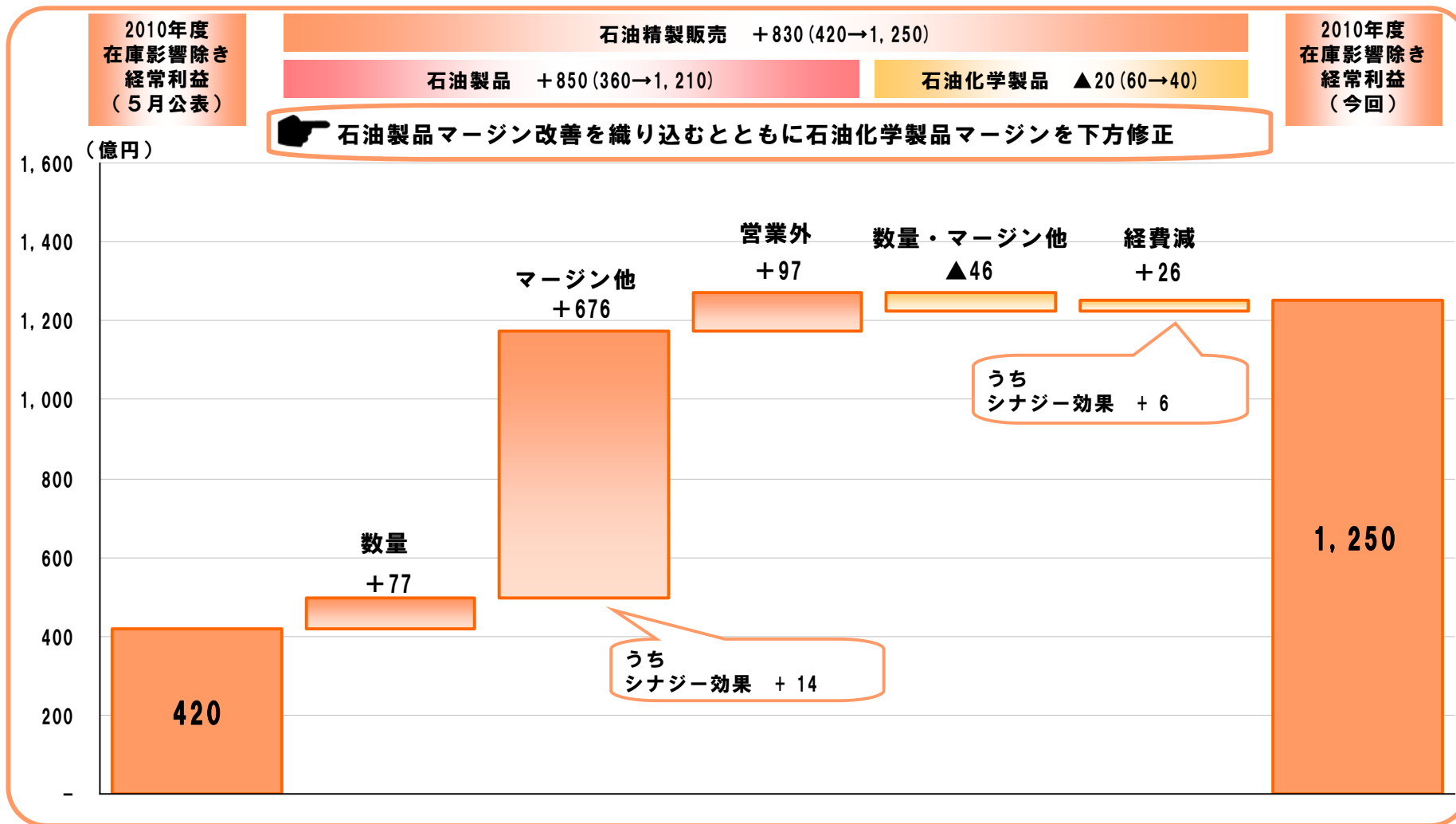
	2010年度 見通し (5月発表)	2010年度 見通し (今回)	差 異
原油代 (ト'ハイ) (\$/B) *	80	78	▲2
銅 価 (¢/lb)	暦年ベース (280) 280	暦年ベース (324) 322	暦年ベース (+44) +42
為替レート (¥/\$)	90	84	▲6
	(億円)	(億円)	(億円)
売上高	91,600	93,900	+2,300
営業利益	1,700	1,500	▲200
営業外利益	500	700	+200
経常利益	2,200	2,200	±0
在庫影響除き経常利益	うち負ののれん 一括償却益 1,800 1,700	うち負ののれん 一括償却益 2,265 2,550	+850
特別利益	1,400	1,750	+350
当期純利益	2,700	3,200	+500
1株当り当期純利益 (円/株)	109	129	
	(負ののれん償却益影響除き 38)		

# 2010年度見通し セグメント別経常利益（前回見通し比）

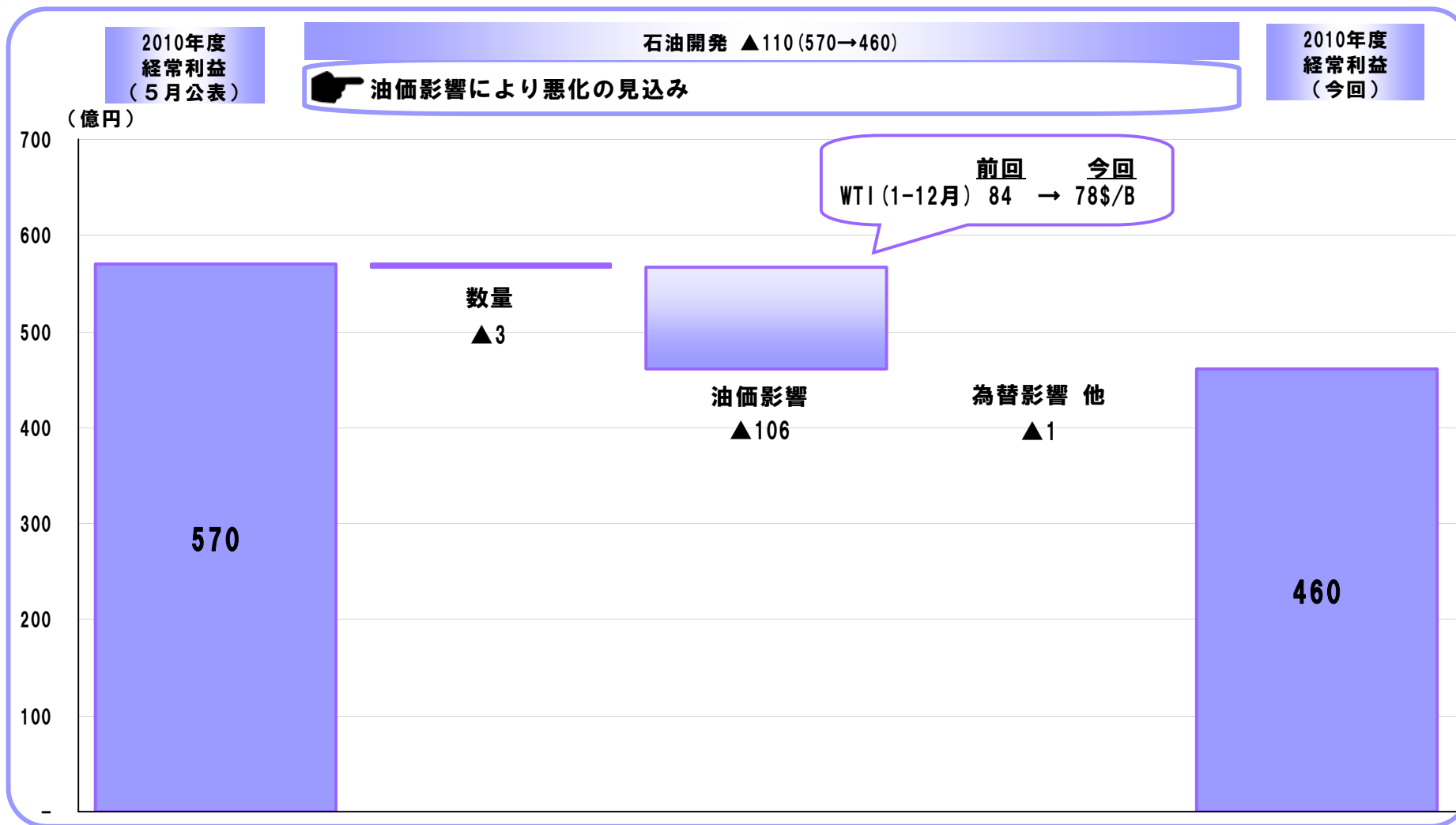
	2010年度 見通し (5月発表)	2010年度 見通し (今回)	差 異
<b>石油精製販売事業</b>	(億円) <u>920</u>	(億円) <u>900</u>	(億円) <u>▲20</u>
（うち在庫影響）	( <u>500</u> )	( <u>▲350</u> )	( <u>▲850</u> )
<b>在庫影響除き</b>	<u>420</u>	<u>1,250</u>	<u>+830</u>
（うち石油製品）	( <u>360</u> )	( <u>1,210</u> )	( <u>+850</u> )
（うち石油化学製品）	( <u>60</u> )	( <u>40</u> )	( <u>▲20</u> )
<b>石油開発事業</b>	<u>570</u>	<u>460</u>	<u>▲110</u>
<b>金属事業</b>	<u>530</u>	<u>610</u>	<u>+80</u>
（うち在庫影響）	( <u>0</u> )	( <u>0</u> )	( <u>±0</u> )
<b>在庫影響除き</b>	<u>530</u>	<u>610</u>	<u>+80</u>
<b>上場子会社<sup>※</sup> 他</b>	<u>180</u>	<u>230</u>	<u>+50</u>
<b>経常利益 計</b>	<u>2,200</u>	<u>2,200</u>	<u>±0</u>
<b>在庫影響除き</b>	<u>1,700</u>	<u>2,550</u>	<u>+850</u>

※ NIPPOおよび東邦チタニウム

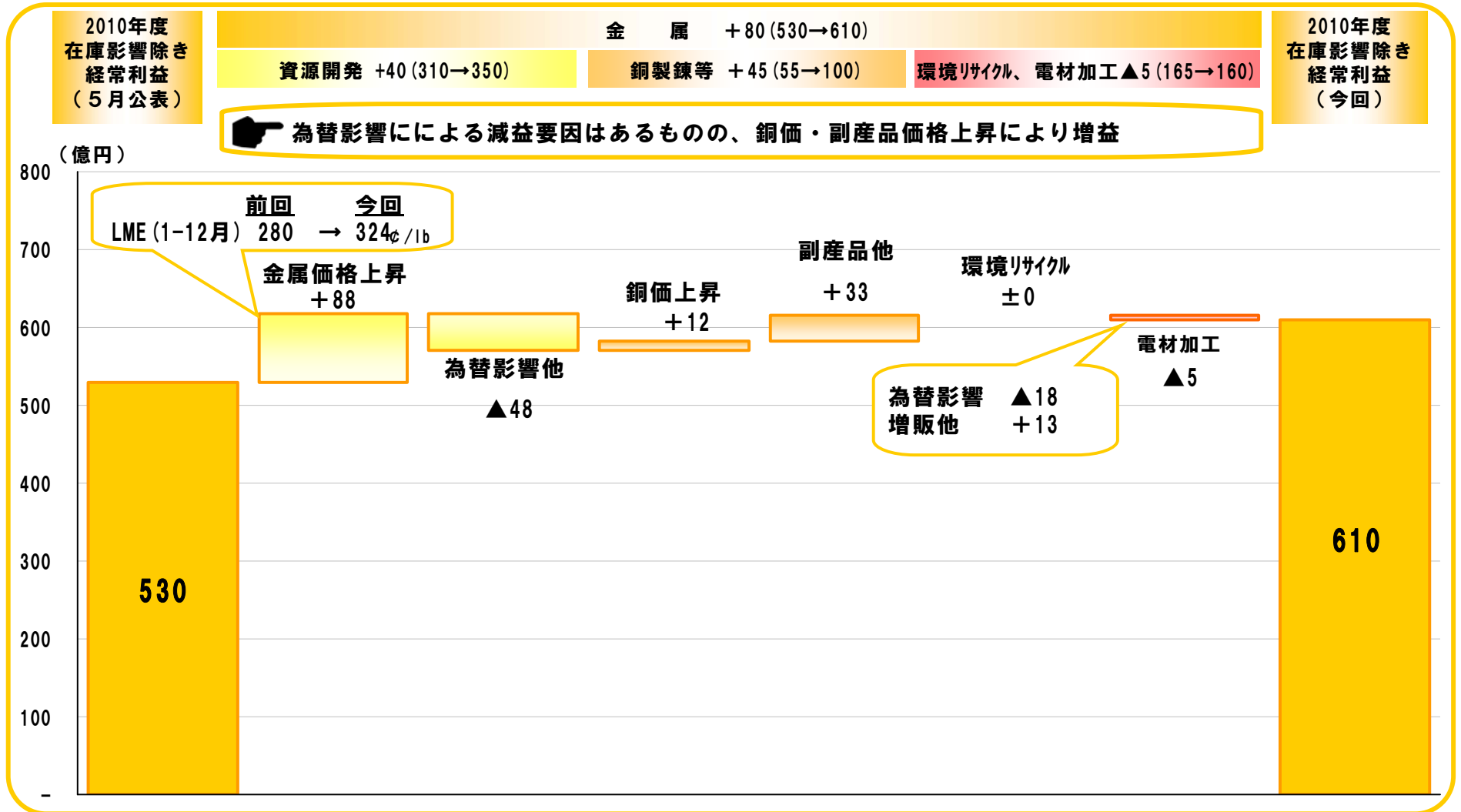
# 2010年度見通し 石油精製販売事業 経常利益分析 (前回見通し比)



# 2010年度見通し 石油開発事業 経常利益分析 (前回見通し比)



# 2010年度見通し 金属事業 経常利益分析 (前回見通し比)



# 統合シナジー・製油所効率化の進捗

	2010年度	2010年度		2010年度
	通期 5月10日 見通し	第2四半期 実績	通期 今回 見通し	通期 差異
【統合シナジー】	億円	億円	億円	
精製部門	70	38	90	20
調達・需給・物流部門	30	14	30	0
購買部門	30	14	30	0
その他コスト削減	80	27	80	0
小計	210	93	230	20
【製油所効率化】				
製油所効率化	90	30	90	0
合計	300	123	320	20

## 参 考 資 料

今般の決算時における最新情報を抜粋して掲載しています。全てを  
ご覧になる場合は、当社ウェブサイトからダウンロードください。

▶ <http://www.hd.jx-group.co.jp/ir/library/statement/2010/>

# セグメント別 業績サマリー（売上高・営業利益・経常利益・当期利益）

	2009年度		2010年度		【参考】
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	2010年度
	実績	実績	実績	今回 見通し	通期 5月10日 見通し
	億円		億円		億円
<b>売上高</b>	<b>40,875</b>	<b>90,080</b>	<b>45,315</b>	<b>93,900</b>	<b>91,600</b>
石油精製販売事業	34,824	76,076	38,343	79,500	77,600
石油開発事業	677	1,459	771	1,450	1,600
金属事業	3,538	7,807	4,613	8,700	8,100
上場子会社 他	1,837	4,738	1,588	4,250	4,300
<b>営業利益</b>	<b>960</b>	<b>1,304</b>	<b>764</b>	<b>1,500</b>	<b>1,700</b>
石油精製販売事業	631	565	369	790	910
石油開発事業	161	285	249	360	490
金属事業	70	169	108	200	160
上場子会社 他	99	285	38	150	140
<b>営業外利益</b>	<b>244</b>	<b>569</b>	<b>387</b>	<b>700</b>	<b>500</b>
石油精製販売事業	90	95	59	110	10
石油開発事業	92	205	72	100	80
金属事業	82	305	197	410	370
上場子会社 他	▲ 21	▲ 36	59	80	40
<b>経常利益</b>	<b>1,204</b>	<b>1,873</b>	<b>1,151</b>	<b>2,200</b>	<b>2,200</b>
石油精製販売事業	721	660	428	900	920
石油開発事業	253	490	321	460	570
金属事業	152	474	305	610	530
上場子会社 他	78	249	97	230	180
<b>当期純利益</b>	<b>630</b>	<b>731</b>	<b>2,867</b>	<b>3,200</b>	<b>2,700</b>

注：「上場子会社他」には、「消去又は全社」を含む



# セグメント別 経常利益（詳細分析）

	2009年度		2010年度		【参考】
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	2010年度
	実績	実績	実績	今回 見通し	通期
	億円	億円	億円	億円	5月10日 見通し
<b>経常利益</b>	<b>1,204</b>	<b>1,873</b>	<b>1,151</b>	<b>2,200</b>	<b>2,200</b>
<b>石油精製販売事業</b>	<b>721</b>	<b>660<sup>*1</sup></b>	<b>428</b>	<b>900</b>	<b>920</b>
石油	▲ 857	▲ 1,476	770	1,210	360
石油化学	130	118	10	40	60
在庫影響	1,448	2,018	▲ 352	▲ 350	500
<b>石油開発事業</b>	<b>253</b>	<b>490</b>	<b>321</b>	<b>460</b>	<b>570</b>
<b>金属事業</b>	<b>152</b>	<b>474</b>	<b>305</b>	<b>610</b>	<b>530</b>
銅資源開発	83	274	165	350	310
銅製錬	10	77	57	100	55
環境リサイクル	23	49	24	50	50
電材加工	16	54	62	110	115
在庫影響	19	20	▲ 3	0	0
<b>上場子会社 他<sup>*2</sup></b>	<b>78</b>	<b>249</b>	<b>97</b>	<b>230</b>	<b>180</b>
上場子会社 他 <sup>*2</sup>	85	261	97	230	180
在庫影響	▲ 7	▲ 11	-	-	-

\*1 2009年度石油精製販売事業内訳（石油・石油化学）は、2010年5月の発表時から見直しております

\*2 「上場子会社 他」には、「消去又は全社」を含む

# 前提条件



		2009年度		2010年度		【参考】
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	2010年度
		実績	実績	実績	今回 見通し	5月10日 見通し
共通	為替レート(円/ドル)	95	93	89	84	90
石油精製販売	原油FOB<ドバイスポット>*1 (ドル/バレル)	60	67	76	78	80
	ジョイント等除き販売数量(百万kl/期・年)	40.4	86.1	41.0	85.9	84.4
	うちバラキシレン販売量(百万トン/期・年)	1.1	2.1	1.0	2.1	2.3
	バラキシレンマージン(ドバイ比)(ドル/トン)	526	490	407	443	530
石油開発	原油相当販売数量(千バレル/日)	140	143	145	143	139
	ガス価格<HenryHub>(ドル/mmbtu)	4.1	3.9	4.7	4.4	4.8
金属	銅価格LME<年度>(セント/ポンド)	239	277	324	322	280
	権益ベース精鉱銅量*2(千トン/期・年)	40	82	46	99	100
	PPC銅販売量(千トン/期・年)	301	605	304	586	610
	環境リサイクル金回収量(トン/期・年)	2.8	6.3	3.6	7.6	7.5
	圧延銅箔販売量(千km/月)	2.6	2.7	3.6	3.6	3.0
	精密圧延品生産品販売量(千トン/月)	3.1	3.5	4.1	4.2	4.3

\*1 到着ベース      \*2 JX日鉱日石金属とPPCの権益ベースの合算値

# 2010年度見通し 感応度

## ■前提条件（2010年度 10月以降）

為替：80円／ドル

原油：80ドル／バーレル  
（ドバイスポット）

銅価：320セント／ポンド

## ■市況変動による2010年度の経常利益への影響額

項目	変動幅	変動項目	(億円／年度)	
			影響度	
為替レート	1円／ドル 円高	石油精製販売（エネルギーコスト減、石化マージン悪化等）	(+)	4
		石油開発	(-)	5
		金属（マージン悪化、為替換算差）	(-)	4
		小計	(-)	5
		在庫影響	(-)	60
		合計	(-)	65
原油FOB (ドバイスポット)	1ドル／バーレル 上昇	石油精製販売（エネルギーコスト増等）	(-)	13
		石油開発	(+)	3
		在庫影響	(+)	60
		合計	(+)	50
銅価（LME）	10セント／ポンド 上昇	金属（鉱山）	(+)	8
		金属（銅製錬）	(+)	2
		合計	(+)	10

# 2010年度第2四半期 セグメント別経常利益（8月公表見通し比）

	2010年度第2四半期 見通し (8月発表)	2010年度第2四半期 実績	差 異
石油精製販売事業	(億円) 160	(億円) 428	(億円) +268
（うち在庫影響）	( ▲70 )	( ▲352 )	( ▲282 )
在庫影響除き	230	780	+550
（うち石油製品）	( 280 )	( 770 )	( +490 )
（うち石油化学製品）	( ▲50 )	( 10 )	( +60 )
石油開発事業	320	321	+1
金属事業	280	305	+25
（うち在庫影響）	( 0 )	( ▲3 )	( ▲3 )
在庫影響除き	280	308	+28
上場子会社 <sup>※</sup> 他	90	97	+7
在庫影響除き	90	97	+7
経常利益 計	850	1,151	+301
在庫影響除き	920	1,506	+586

白油マージン等 +360  
石化マージン等 +60  
経費減 +110  
他

※ NIPP0および東邦チタニウム

# 2010年度見通し セグメント別経常利益（前年同期比）

\*新日石・新日鉱単純合算

	2009年度 （実績） *	2010年度 （見通し）	差 異	
	（億円）	（億円）	（億円）	
<b>石油精製販売事業</b>	<b>660</b>	<b>900</b>	<b>+240</b>	
（うち在庫影響）	（ 2,018 ）	（ ▲350 ）	（ ▲2,368 ）	数量 ▲50 白油マージン +2,270 石化マージン ▲200 経費減 +650 他
<b>在庫影響除き</b>	<b>▲1,358</b> *1	<b>1,250</b>	<b>+2,608</b>	
（うち石油製品）	（ ▲1,476 ）	（ 1,210 ）	（ +2,686 ）	
（うち石油化学製品）	（ 118 ）	（ 40 ）	（ ▲78 ）	
<b>石油開発事業</b>	<b>490</b>	<b>460</b>	<b>▲30</b>	数量影響 ▲110 油価影響 +230 為替影響 ▲230 他
<b>金属事業</b>	<b>474</b>	<b>610</b>	<b>+136</b>	
（うち在庫影響）	（ 20 ）	（ 0 ）	（ ▲20 ）	銅価上昇 +110 環境/電材増 +60 他
<b>在庫影響除き</b>	<b>454</b>	<b>610</b>	<b>+156</b>	
<b>上場子会社<sup>*2</sup> 他</b>	<b>249</b>	<b>230</b>	<b>▲19</b>	
（うち在庫影響）	（ ▲11 ）	（ - ）	（ +11 ）	
<b>在庫影響除き</b>	<b>261</b>	<b>230</b>	<b>▲31</b>	
<b>経常利益 計</b>	<b>1,873</b>	<b>2,200</b>	<b>+327</b>	
<b>在庫影響除き</b>	<b>▲153</b>	<b>2,550</b>	<b>+2,703</b>	

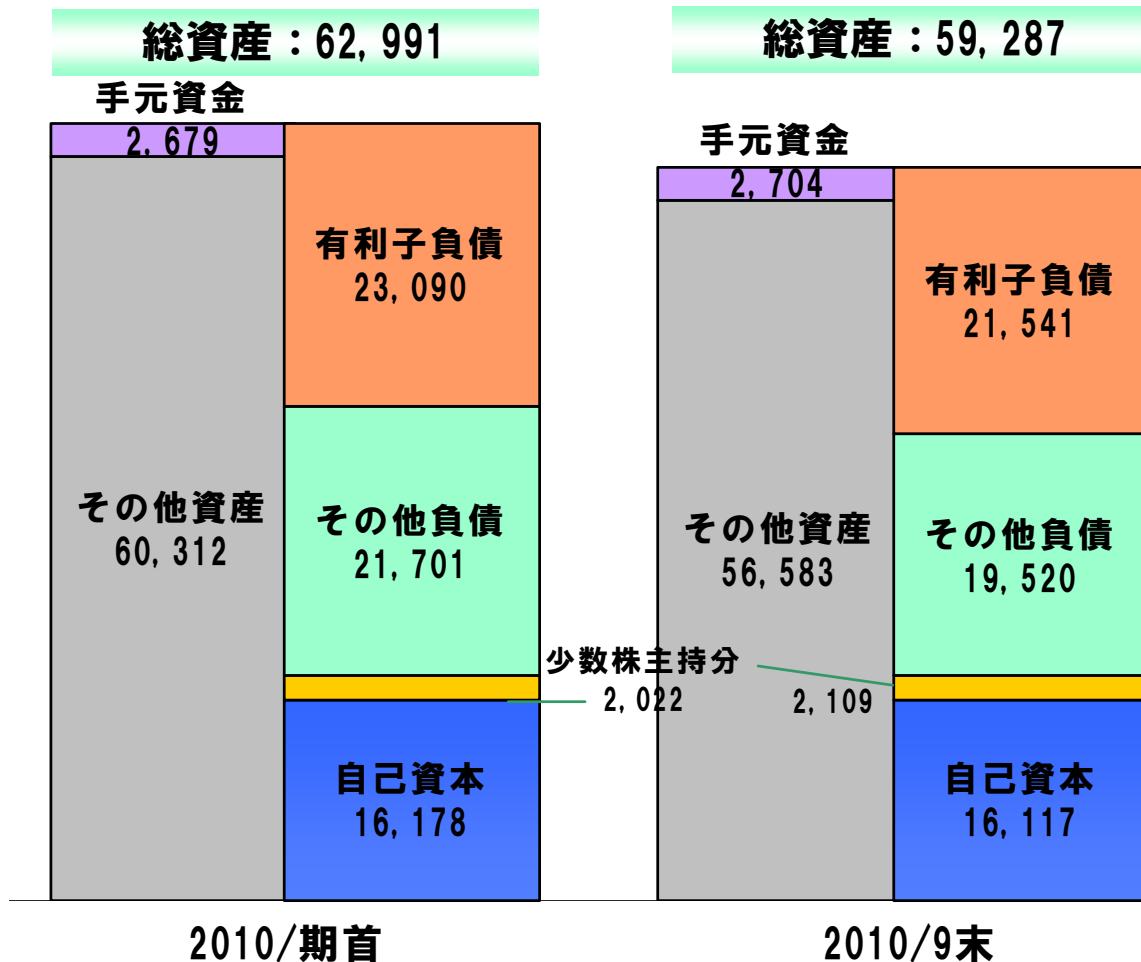
\*1 2009年度石油精製販売事業経常利益内訳（石油製品・石油化学製品）は、2010年5月の発表時から見直しております。

\*2 NIPPOおよび東邦チタニウム

# 連結バランスシート



(億円)



<3月末比 ▲1,549億円>

フリーキャッシュフローの増加  
によって有利子負債を削減

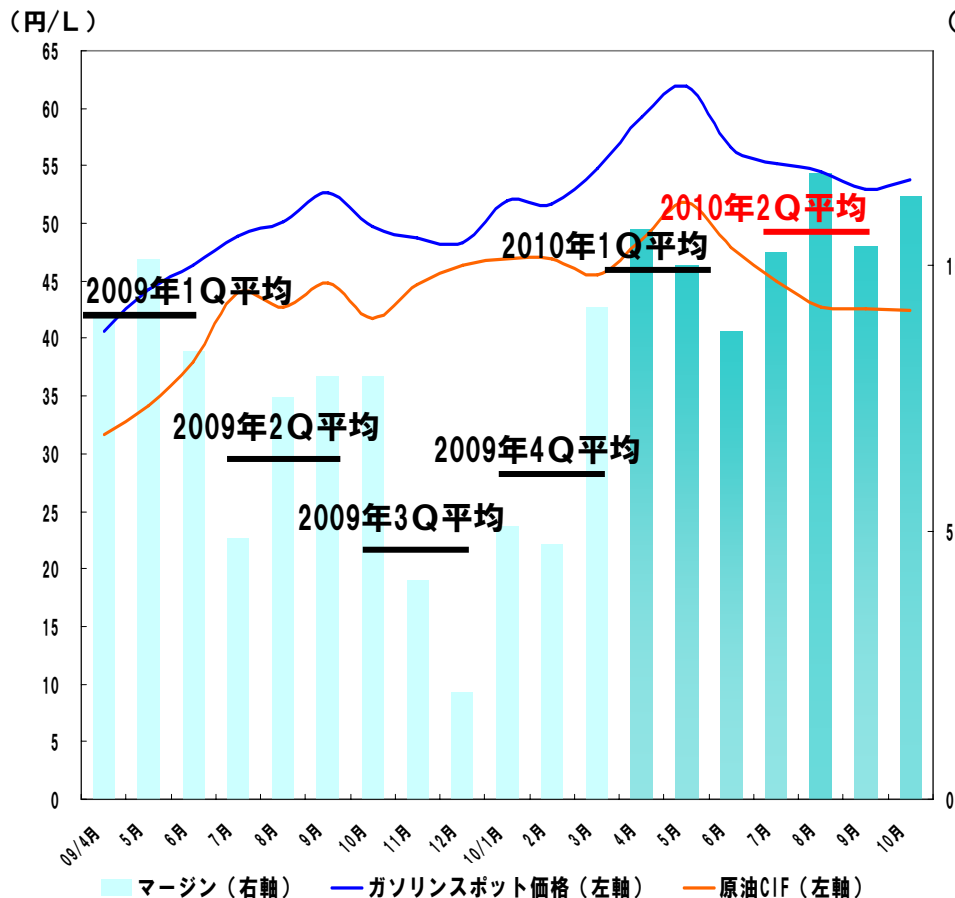
自己資本比率：27.2%

ネットD/Eレシオ：1.17倍

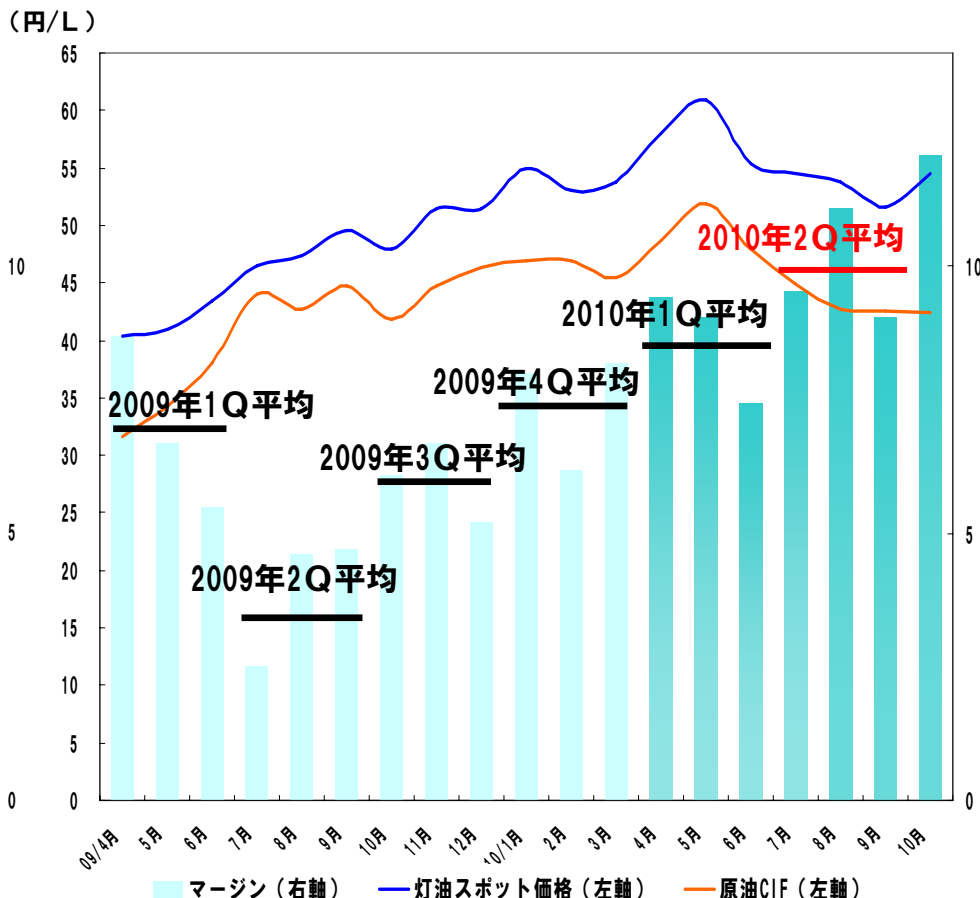
# 国内マージン（ガソリン・灯油）



## ガソリン



## 灯油

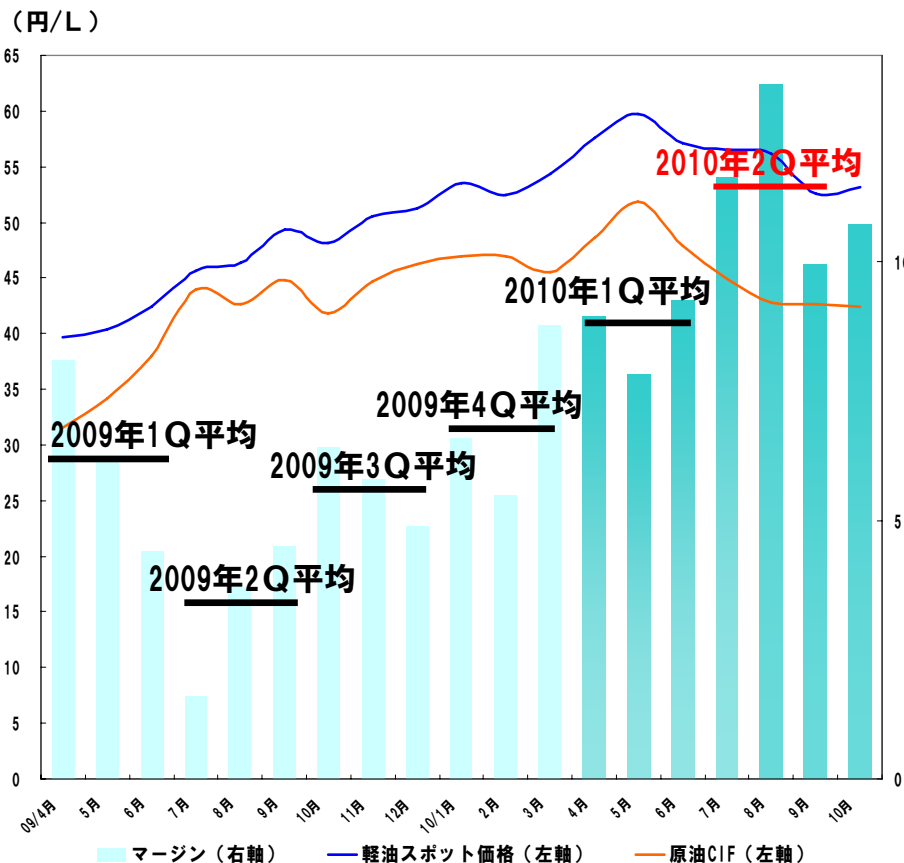


注：マージン = スポット価格 - 全国通関原油CIF (石油税、金利含み) - 石油諸税

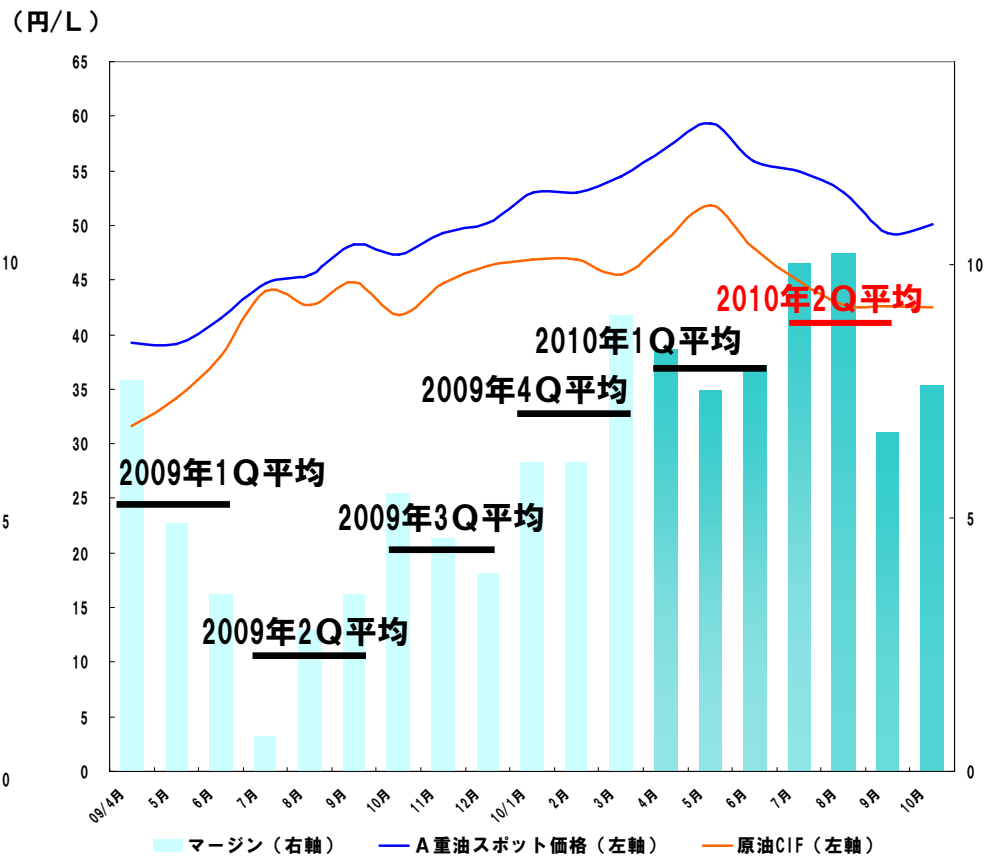
(出典：財務省通関統計)



## 軽油



## A重油



注：マージン = スポット価格 - 全国通関原油CIF（石油税、金利含み） - 石油諸税

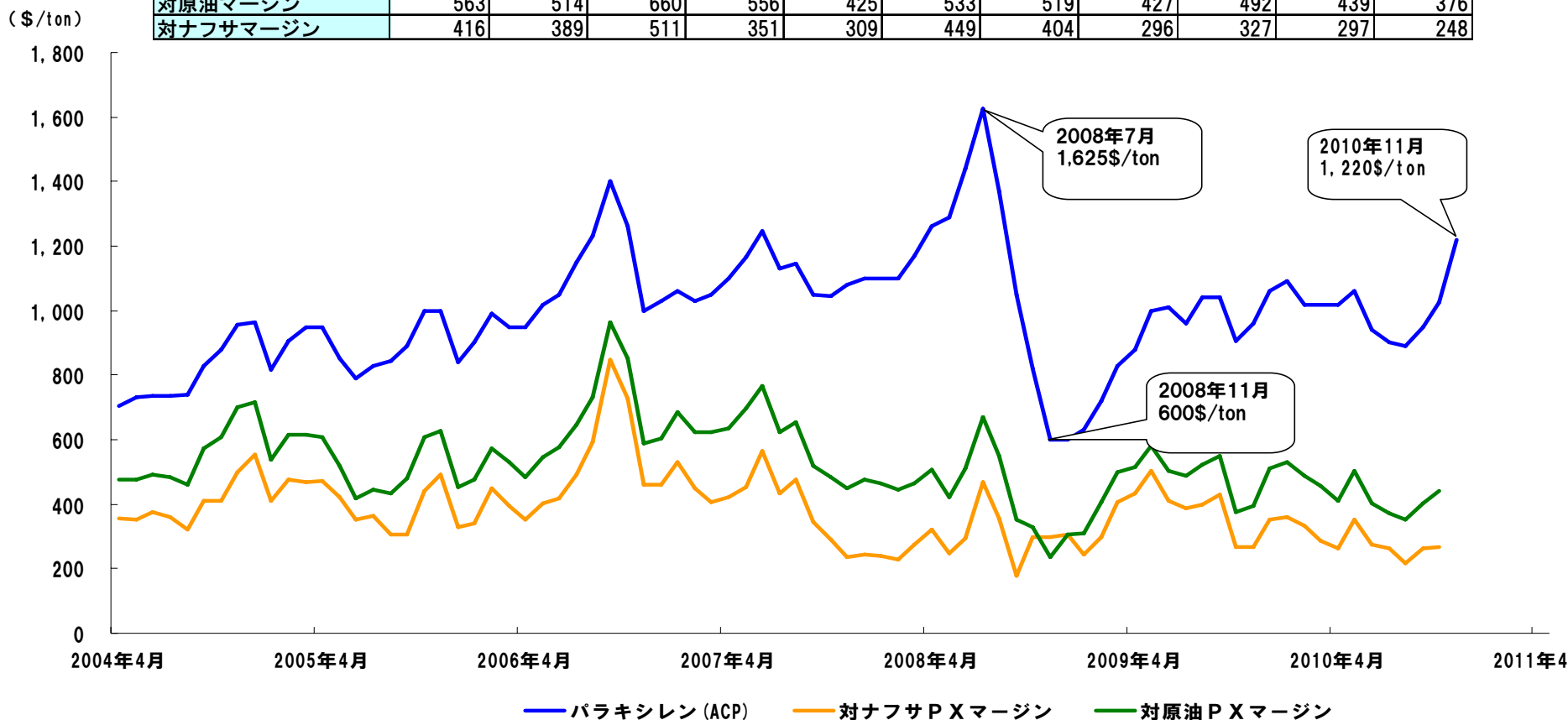
（出典：財務省通関統計）



# パラキシレン価格・マージン（対ナフサ・対原油）



平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度				10年度	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Asian Contract Price	829	903	1,103	1,119	1,020	964	1,013	976	1,043	1,007	913
対原油マージン	563	514	660	556	425	533	519	427	492	439	376
対ナフサマージン	416	389	511	351	309	449	404	296	327	297	248

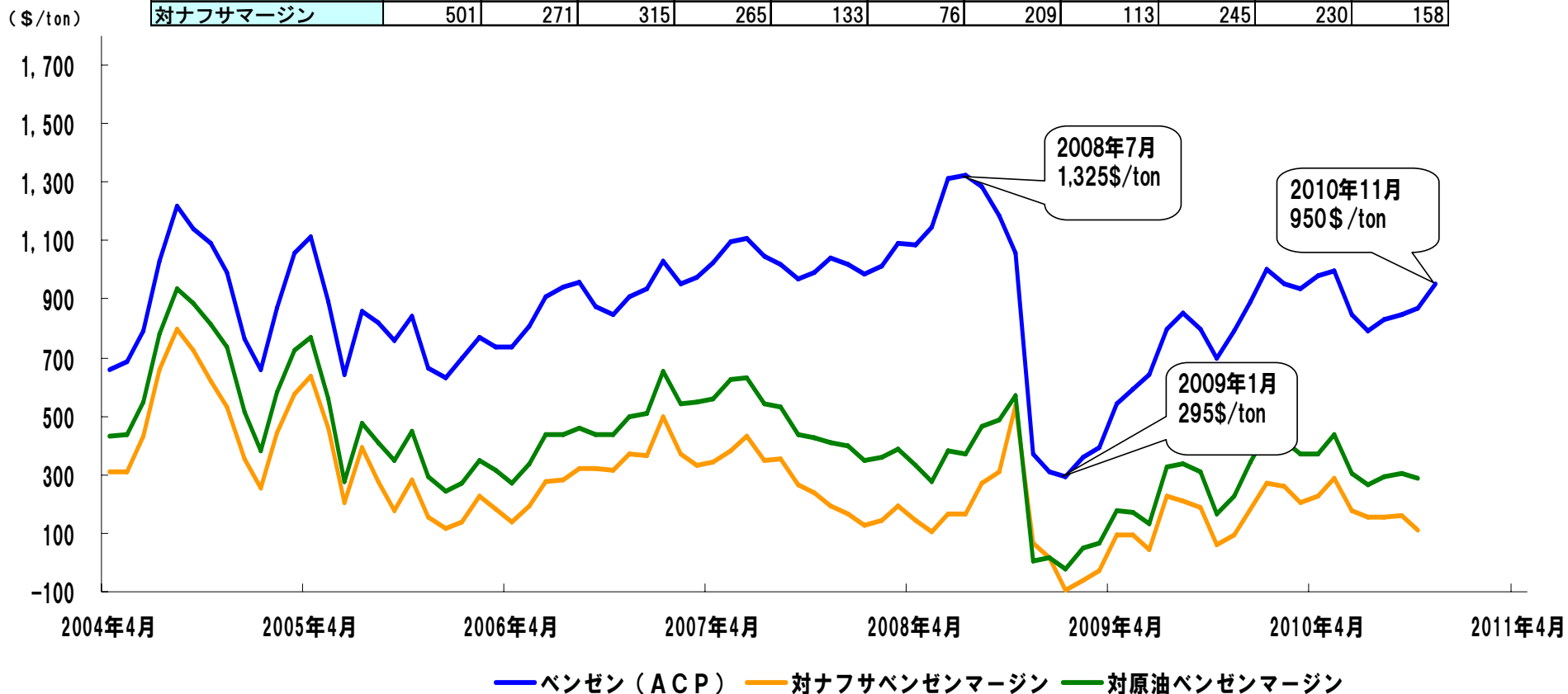


\*1. 対ナフサ、対原油マージンとも2010年10月までを入力  
\*2. ACP未決の月についてはスポット価格の平均値を採用

# ベンゼン価格・マージン（対ナフサ・対原油）



平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度				10年度	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Asian Contract Price	914	786	907	1,034	844	590	818	793	962	940	823
対原油マージン	648	397	464	471	249	160	324	245	410	372	286
対ナフサマージン	501	271	315	265	133	76	209	113	245	230	158



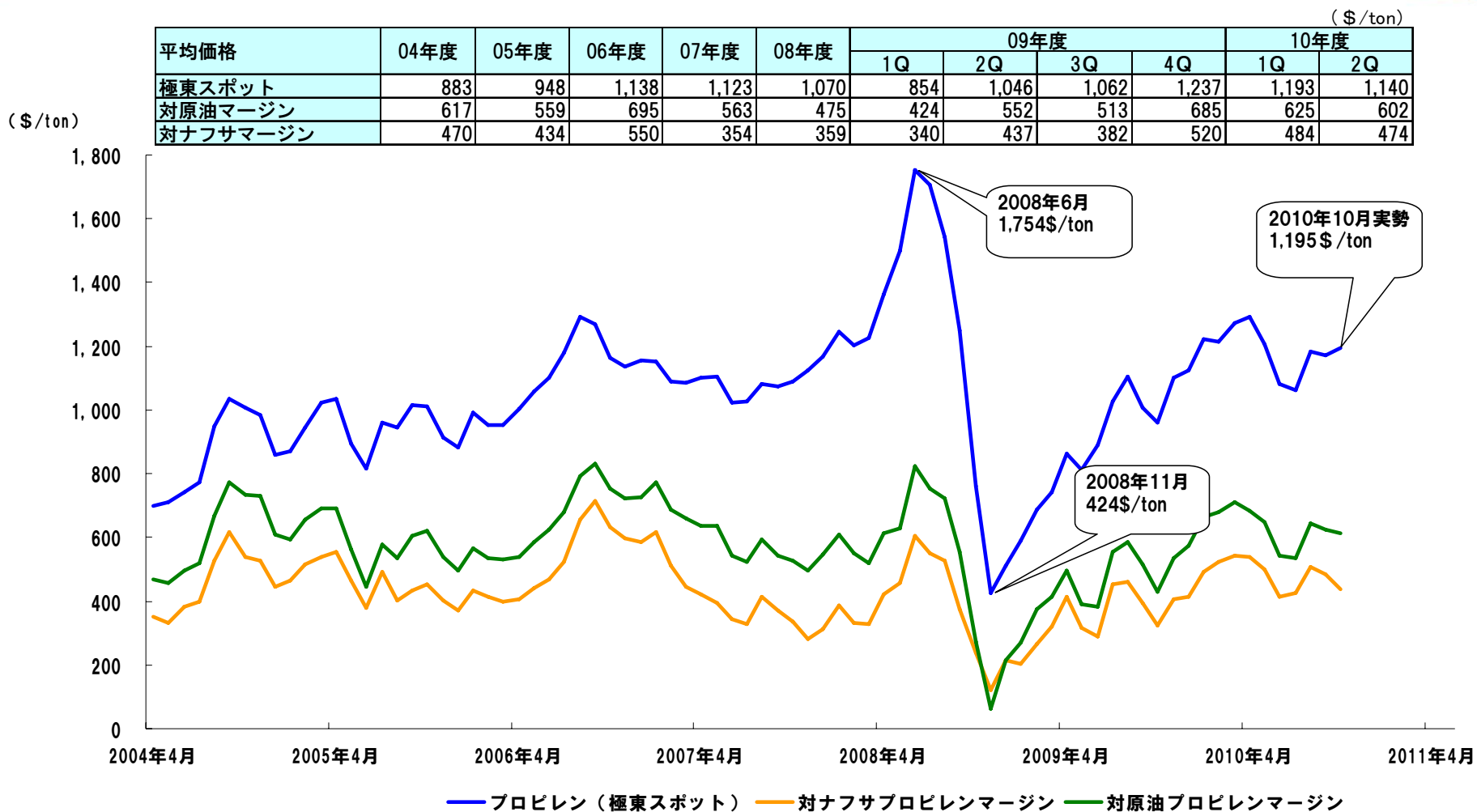
2008年7月  
1,325\$/ton

2010年11月  
950\$/ton

2009年1月  
295\$/ton

\*対ナフサ、対原油マージンとも2010年10月までを入力

# プロピレン価格・マージン（対ナフサ・対原油）



油種別販売数量（09年度実績・10年度上期実績・10年度見通し）



油種	2009年度 上期	2009年度
	JXグループ*	JXグループ*
	万KL	万KL
揮発油	1,010	2,002
（ハイオク）	(153)	(295)
（レギュラー）	(852)	(1,696)
ナフサ	212	427
ジェット	77	156
灯油	195	799
軽油	591	1,206
A重油	294	682
C重油	327	631
（電力C）	(174)	(325)
（一般C）	(153)	(306)
内需燃料油計	2,706	5,903
原油	50	114
潤滑油・特品	151	332
化学品(万t)	284	582
輸出燃料油	576	1,030
LPG(万t)	91	201
石炭(万t)	181	444
ジョイント等除き計	4,039	8,606
ジョイント等	1,276	2,705
総合計	5,315	11,311

2010年度 上期	2010年度見通し(11/5現在)	対2009年度上期	対2009年度実績
JXグループ*	JXグループ	増減率	増減率
万KL	万KL		
1,028	1,985	1.8%	-0.8%
(147)	(286)	-3.6%	-3.1%
(876)	(1,687)	2.7%	-0.5%
186	419	-12.3%	-1.9%
73	148	-5.6%	-5.1%
194	727	-0.8%	-9.0%
595	1,197	0.9%	-0.7%
280	638	-4.9%	-6.5%
326	576	-0.2%	-8.7%
(194)	(305)	11.5%	-6.2%
(132)	(271)	-13.7%	-11.4%
2,682	5,690	-0.9%	-3.6%
77	126	52.4%	10.5%
163	353	8.4%	6.3%
278	599	-1.8%	2.9%
538	1,109	-6.4%	7.7%
89	200	-3.0%	-0.5%
274	513	51.3%	15.5%
4,101	8,590	1.6%	-0.2%
1,104	2,216	-13.5%	-18.1%
5,205	10,806	-2.1%	-4.5%

\* 2009年度及び2010年度1Q販売数量は新日本石油、ジャパンエナジーの単純合計

## 固定式SS数推移



	04年度末	05年度末	06年度末	07年度末	08年度末	09年度末	10年9月末
JXグループ	15,082	14,640	14,076	13,474	13,318	12,687	12,460
E M G K <sup>*1</sup>	6,701	6,464	6,044	5,635	5,064	4,761	4,630
出光興産	5,358	5,249	5,059	4,913	4,598	4,338	4,237
昭和シェル	4,808	4,689	4,560	4,481	4,256	4,102	3,984
コスモ <sup>*2</sup>	4,709	4,552	4,359	4,188	3,913	3,768	3,692
その他元売 <sup>*2</sup>	1,500	1,439	1,388	1,383	687	683	665
元売計	38,158 (79.5%)	37,033 (78.8%)	35,486 (79.4%)	34,074 (79.2%)	31,836 (77.5%)	30,339 (75.8%)	29,668 (75.7%)
P B 他 <sup>*3</sup>	9,842 (20.5%)	9,967 (21.2%)	9,214 (20.6%)	8,926 (20.8%)	9,264 (22.5%)	9,661 (24.2%)	9,532 (24.3%)
合計 <sup>*3</sup>	48,000	47,000	44,700	43,000	41,100	40,000	39,200

\*1. エッソ、モービル、ゼネラル、キグナスの合算

\*2. (07年度まで) 九石、太陽、三井の3社合計、(08年度以降) 太陽・三井の2社合計

\*3. 当社推定

\*4. 元売系列のセルフSSのみ

(出典：燃料油脂新聞、石油情報センター他より当社作成)

## &lt;社有SS数&gt;

	09年度末	10年9月末
JXグループ	2,893	2,817

## &lt;セルフSS数&gt;

	09年度末	10年9月末
JXグループ	2,378	2,386
全 国 <sup>*4</sup>	6,906	6,915

## 燃料油販売シェア

油種	09年度 (%)	10年度上期 (%)
揮発油	34.8	34.4
灯油	41.9	39.4
軽油	37.6	37.3
A重油	42.5	41.7
4品計	37.6	36.5
内需燃料油	34.0	33.0

## 内需（前年同期比）

油種	09年度上期 (千KL)	10年度上期 (千KL)	前年比 (%)
揮発油	29,100	29,892	102.7
灯油	4,964	5,494	110.7
軽油	15,624	16,059	102.8
A重油	6,944	6,708	96.6
4品計	56,633	58,154	102.7
内需燃料油	89,875	91,755	102.1

## 稼働率推移（定修除き）

（単位：百万BD）

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度上期
JXグループ	94%	93%	91%	89%	85%	78%	81%
全 国	84% (4.78)	87% (4.77)	83% (4.39)	83% (4.49)	84% (4.59)	82% (4.41)	—

\*1：括弧内は全国合計精製能力

\*2：長期停止していた水島（新日石）第2トッパーの能力（110千B/D）を除いた10年度上期稼働率は84%程度。

注：当社稼働率、全国精製能力ともJX水島、鹿島のコンデンセートスプリッターを除外している。

# 主な石油・天然ガス開発プロジェクトの販売量・埋蔵量



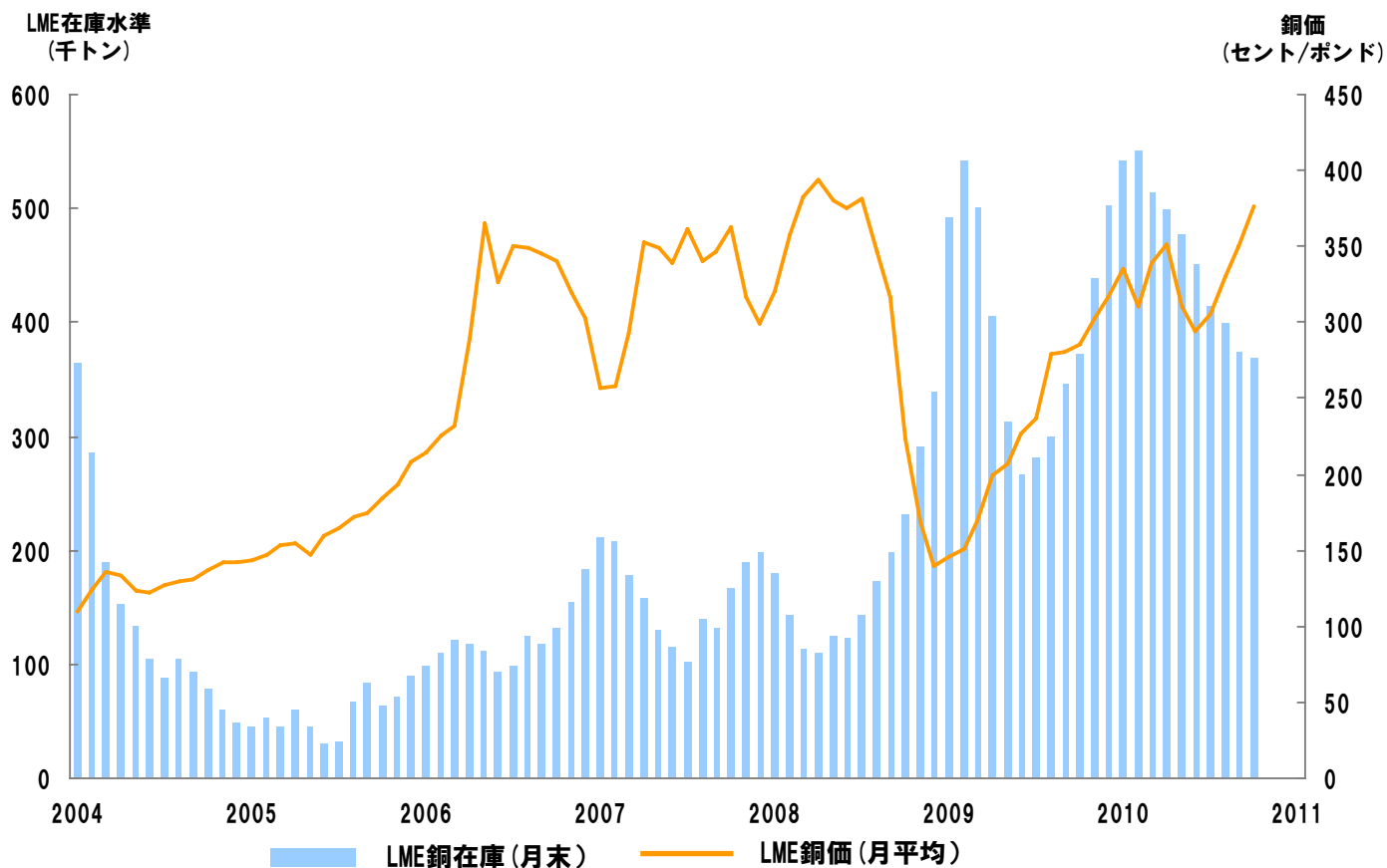
プロジェクト地域/会社	2010年 1-6月販売量 (千BOE) *1	埋蔵量 *2 (百万BOE)	
[米国メキシコ湾] NOEX USA	11	48	
[カナダ] 日本カナダ石油	15	280	
[英国北海] NOEP UK	13	21	
[ベトナム] 日本ベトナム石油	11		
[ミャンマー] 日石ミャンマー	9		
[マレーシア] 日石マレーシア	20		
日石サラワク	33		
[インドネシア] 日石ベラウ	11		<小計> 352
[バブアニューギニア] 日本バブアニューギニア石油 サザンハイランド石油開発	6 1		
[オーストラリア] NOEX Australia Pty Ltd.	1	<小計> 88	
[UAE・カタール他] アブダビ石油・合同石油他	14	24	
合計	145	813	

08年12月対比 +113

# 銅価・LME在庫



平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度				10年度			
										1 Q	2 Q	1 Q	2 Q
						1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q		
銅価	136	186	316	344	266	212	266	302	328	319	329		





本通知には、将来見通しに関する記述が含まれています。これらの将来に関する記述は、「考えます」、「期待します」、「見込みます」、「計画します」、「意図します」、「はずです」、「するつもりです」、「予測します」、「将来」、その他、これらと同様の表現、または特に「戦略」、「目標」、「計画」、「意図」などに関する説明という形で示されています。多くの要因によって、本文書に述べられている「将来に関する記述」と大きく異なる実際の結果が、将来発生する可能性があります。かかる要因としては、（１）マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における会社の競争環境などの業界の一般的な状況、（２）規制、訴訟に関する事項およびリスク、（３）法制上の変化、（４）税法その他の法律の改正、一般的経済状況の変化が及ぼす影響などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。